

試験資格登録室の取り組み



はじめに

沿岸技術研究センターでは、公益目的支出計画実施事業として、「海洋・港湾構造物維持管理士」及び「海洋・港湾構造物設計士」の資格を認定している。本事業は、沿岸域及び海洋に関する技術にかかる知識及び能力を有する者の認定、登録及びこれに関連する事業である。以下、それぞれの資格認定制度とこの業務を担っている試験資格登録室の取り組み等について紹介する。

資格制度創設の背景等と登録資格制度

昭和30～40年代の高度経済成長期に建設された海洋・港湾構造物の多くは老朽化が進行しており、今後、維持・改良・更新費の増大が見込まれている。

しかしながら、国の公共事業予算は近年、ほぼ横ばいで推移し、今後も大幅な増額が見込まれない状況でありかつ近年の建

設資材や人件費等の高騰により、実際の業務量は減少傾向にある。

このような現状において、この費用をいかに抑制しつつ、海洋・港湾構造物を長期にわたり有効に活用していくことが喫緊の課題となっている。

このため、国土交通省は、海洋・港湾構造物の変状や劣化による性能低下を事前に予防する「予防保全型」の考え方を導入することより、計画的な維持管理の実施を目指すこととし、平成19年3月に「港湾の施設の技術上の基準を定める省令」を改正するとともに「技術基準対象施設の維持に関し必要な事項を定める告示」等を定めた。

そのなかでは、維持管理計画策定の必要性とその策定及び実施に当っては専門技術者の関与が謳われている。

そのような状況の中、海洋・港湾構造物の維持管理計画の策定や維持管理の実施などにおいて指導的な役割を担う信頼性の高い優秀な専門技術者の育成と確保のために、平成20年度に「海洋・港湾構造物維持管理士」資格制度を創設し、今年で18年目を迎えている。（※合格者等は図1参照）

また、この省令の改訂により、設計体系が従来の仕様設計から性能設計へ移行したことに伴い、施設に求められる性能を規定し、その性能を照査する手法などについては、設計者の裁量に委ねられることになった。

そこで、これまで以上に設計成果品の良質な品質を確保しつつ、創意工夫を凝らした自由な発想に基づき設計ができる優れた技術者の確保及び育成が求められ、この要請に対応して信頼性の高い優秀な専門技術者の育成と確保のために、平成22年度に「海洋・港湾構造物設計士」資格制度を創設し、今年で16年目を迎えている。（※合格者等は図2参照）

一方、国においても、社会資本ストックの維持管理・更新を適切に実施するためには、点検・診断等の質が重要であり、こ

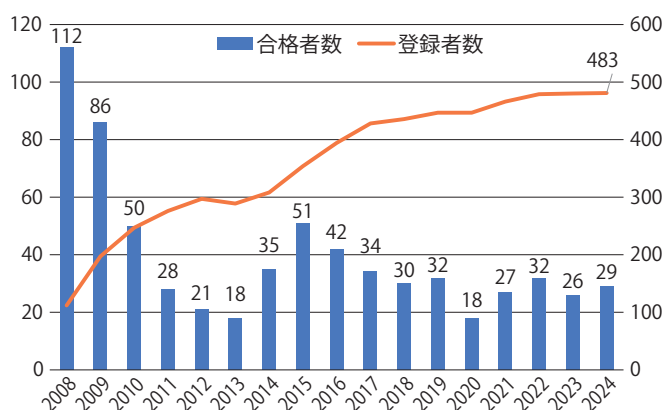


図1 海洋・港湾構造物維持管理士の合格者推移

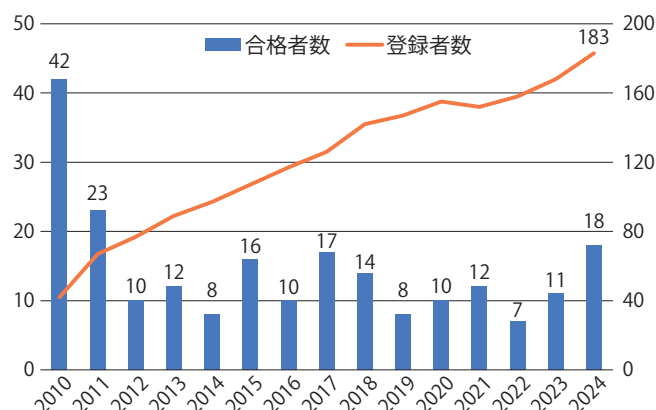


図2 海洋・港湾構造物設計士の合格者推移

れらに携る技術者の能力を評価し、活用することが求められ、平成26年に改正された「公共工事の品質確保の促進に関する法律（通称：品確法）」においても、公共工事に関する調査及び設計の品質確保の観点から、資格等の評価のあり方等について検討を重ね、その結果に基づいて必要な措置を講ずることが規定された。

そこで、民間団体等が運営する一定水準の技術力等を有する資格について、国や地方公共団体の業務に活用できるよう、国土交通省が「国土交通省登録資格」として登録する制度を平成26年度に導入し、「海洋・港湾構造物維持管理士」及び「海洋・港湾構造物設計士」の両資格が登録された。

現在、維持管理士資格は港湾施設分野における点検・診断、計画策定（維持管理）、設計（維持管理）、海岸堤防等分野における点検・診断の4業務が、また、設計士資格は港湾分野における設計、港湾施設分野における設計（維持管理）、海岸分野における計画・調査・設計の3業務について登録されている。（令和7年2月一部更新登録済）（表1）

今後の取り組み

国の公共事業予算の大幅な増額が期待できない昨今の状況において、インフラの機能を将来にわたって適切に発揮させるためには、必要な技術水準を満たす担い手を中長期的に育成し、確保することが重要である。

両資格は海洋・港湾構造物に関する維持管理や設計分野に特化し、その高いレベルの知識・技能を認定するものである。

今後は、さらに「予防保全型インフラメンテナンス」、「新技術導入による生産性向上」等の社会要請に応じていくことが求められている。

専門性の高い資格を有する技術者が拡大し、資格取得者が関係業務の実施にあたって活躍する好循環が形成されることを期待している。

これからも、本資格認定事業を通じて、海洋・港湾構造物の戦略的かつ効果的な維持管理の実施及び設計技術の品質向上、さらにはレベルの高い人材の育成・確保に向けてより一層の貢献をはかって参りたい。

また、両試験制度について、業界紙への掲載や講演会等を通じて、積極的に広報を行っていくとともに、海洋・港湾構造物維持管理士会及び設計士会と連携強化を図っていくことにより、更なる認知度を高めていきたいと考えている

最後に、業務とは直接、関係はないが、当室のメンバーは室長以外、全員、他の業務を兼任しており、多忙を極めている。

このような中において、少しでも横のつながりを持てるように定期的に懇親会を開催し、また、年に数回、ボーリング大会を実施するなど職員同士の親睦を深め、円滑かつ効率的な事務運営に努めている。



表1 国土交通省登録資格制度における登録区分

部門	施設分野	資格名	業務名	知識・技術を求める者
港湾	港湾（設計）	海洋・港湾構造物設計士*	設計	管理技術者・照査技術者
	港湾施設	海洋・港湾構造物維持管理士	点検・診断	管理技術者
			計画策定（維持管理）	管理技術者
			設計（維持管理）	管理技術者
		海洋・港湾構造物設計士	設計（維持管理）	管理技術者
海岸	海岸堤防等	海洋・港湾構造物維持管理士	点検・診断	管理技術者
	海岸	海洋・港湾構造物設計士*	計画・調査・設計	管理技術者・照査技術者

*平成27年度 追加登録